

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（2日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	射水市	代表者名	夏野 元志
担当者部署	財務管理部総務課	連絡先電話番号	0766-51-6615
担当者役職	副主幹	担当者氏名	近岡 良祐
住所	939-0294 富山県射水市新開発4 1 0番地 1		

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	前田 みゆき
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	デジタル庁では、どのように自治体システムの標準化に取り組み、進められているのか、考え方も聞くことができ良かった。現行の住民記録システムと標準仕様書とのFit&Gapを終えたところで、調査の中で判明した課題や不明点など、アドバイザーとの意見交換を通じて理解が深まり、一緒に調査を進める市町村間で今後の方向性や課題の共有を図ることができ、有意義な研修でした。
アドバイザーへの要望事項	今後も継続的に意見交換や情報共有いただける機会があると、とてもありがたいです。引き続き、ご支援をお願いしたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2022年2月28日	14時00分	16時30分		150
3-2. 派遣場所	会場名	富山県民会館		最寄駅	富山駅
	所在地	富山県富山市新総曲輪 4 番 1 8 号		最寄駅からの交通手段	徒歩 1 0 分
	派遣形態	支援・助言（オンライン）			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 職員、企業等	人数 40 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	標準化基準に適合したシステム（標準準拠システム）の利用が法律で義務付けられていることや財政支援を受けるためには2025年度までに「（仮称）Gov-Cloud」へ移行しなければならないことから、先行事業の動向や国の検討状況を積極的に情報収集する必要がある。	
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	標準準拠システムへの移行に向けた意見交換では、疑問点にも丁寧に回答いただき、理解が深まった。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	職員の啓発	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	自治体情報システムの統一・標準化の経緯、現在までの推進状況、自治体情報システムの統一・標準化の基本方針について、最新の動向を含め、ご教示いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	標準仕様書における疑問点についての助言や標準化に向けた国の考え方をお聞きすることができ、調査を進めてきた14市町村で今後の方向性や課題の共有を図ることができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容（具体的にご記入ください）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先行実証事業の結果で浮彫となった課題などがあれば情報提供してほしい。</li> <li>・今後、各自治体が標準仕様への対応方針を定めやすいよう明確な形での基本方針、改定仕様書の公表が行われることを期待している。</li> </ul>	

アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートは回答集計中であるが、概ね好評でした。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	令和7年度末までに標準準拠システムへ計画的かつ円滑に移行する。	

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

